安全作業のために必ず守っていただきたいこと

この「安全作業のために必ず守っていただきたいこと」は、"はしご兼用脚立"の取扱説明書より抜粋し、再編集したものです。
お持ちの機材によって取り扱い方法などが異なりますので製品に添付されている取扱説明書等と照合してお使いください。

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠警告 はしご兼用脚立としての用途以外の使いかたをしないでください。

はしご兼用脚立は、高い所で作業するときの足場として作られた「脚立」の用途と、建物などに立て掛けて高い所に昇り降りする「はしご」の用途があります。(「はしご」として使うときは、作業をしないでください。)使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

⚠警告 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
- 薬やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- 身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、危険です。

⚠警告 作業に適した服装で使ってください。

ロングスカート，エプロン，マフラーなど昇り降りや作業中に製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用せず、必ずヘルメット，安全靴等の安全具を着用し、作業に適した服装で使って下さい。

⚠警告 はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。

補助者がはしごを支えないと、転倒や転落の恐れがあります。
また使用中は、はしごを支える補助者以外の人は近づけないでください。

⚠警告 最大使用荷重の範囲を守ってください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用荷重を超えるときは、使わないでください。
また、荷物は身体の安定が保てる程度の重さにしてください。

⚠警告 はしご兼用脚立を加工や改造しないでください。

⚠警告 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

2. お使いになる前に

⚠警告 使う前には、必ずご使用前の点検を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告 変形したはしご兼用脚立を、使わないでください。

曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

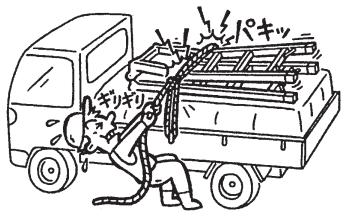
⚠警告 割れ・ひび及び摩耗したはしご兼用脚立を、使わないでください。

割れ・ひび及び摩耗したFRP材を使用しますと折れたりして、重大な事故の原因になります（FRP材を使用した脚立に限る）。

安全作業のために必ず守っていただきたいこと

3. 運ぶときは

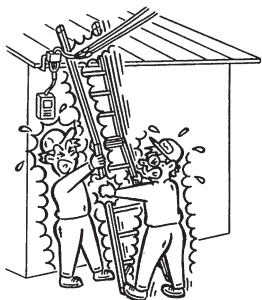
⚠警告 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

⚠注意 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4. 設置する場所について

⚠危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

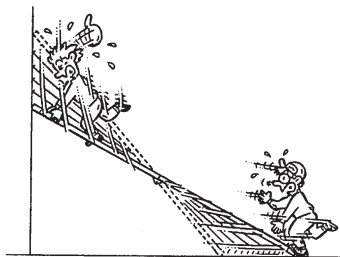
この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠警告 はしごや脚立が安定しない地面や床には、設置しないでください。

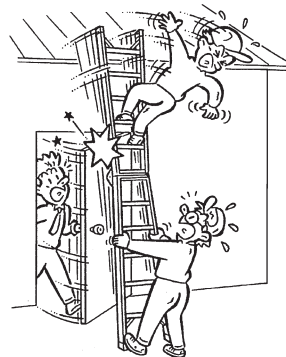
地面や床が下記の状態では、はしごや脚立が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい地面で、はしごや脚立が埋もれていく場所。
- はしごで使うとき、支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
- その他、安定しない場所。

⚠警告 地面や床が滑りやすい場所には、設置しないでください。

地面や床が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- 濡れている床。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい地面や床。
- その他、滑りやすい場所。

⚠警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、はしごや脚立が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

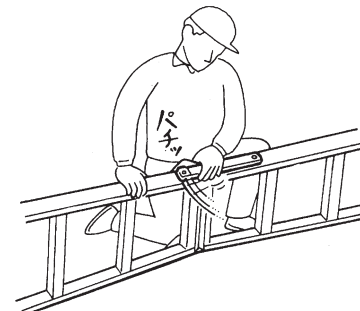
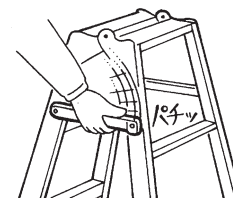
濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

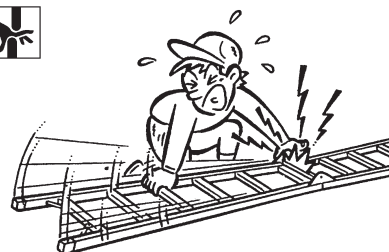
⚠警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

5. はしごや脚立にするとき

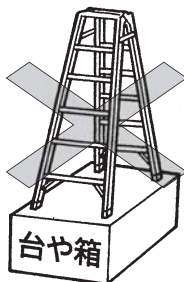
⚠警告 両側の開き止め金具を確実に掛け、ロック部で固定していることを確認してください。

開き止め金具の掛かりが不十分で使うと脚が開閉し、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 脚立を開くとき、ヒンジ（回転金具）や開き止め金具の回転部で、手をはさまないように注意してください。

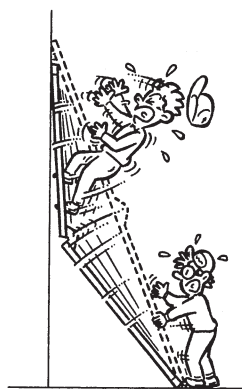
けがをする恐れがあります。

安全作業のために必ず守っていただきたいこと

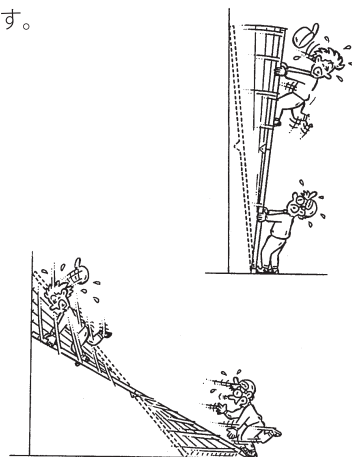
6. 脚立状態で設置するとき

⚠警告 脚立を高くするために、脚立にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。

7. はしご状態で立て掛けるとき

⚠危険 はしごの裏側は、絶対に使わないでください。

はしご状態で使うときは、表側と裏側があります。裏側を使いますと、開き止め金具が破損してはしごが折りたたまれ、転落する危険があります。

⚠危険 はしごの立て掛け角度は、約 75 度にしてください。

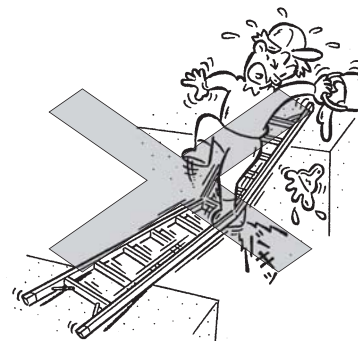
はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。

⚠警告 はしごの周囲は整理整頓してください。

万一の転倒・転落事故に備えて、危険なものはかたづけてください。

⚠警告 はしごと建物の接点は、最上段と 2 段目の踏ざんの間が理想的です。

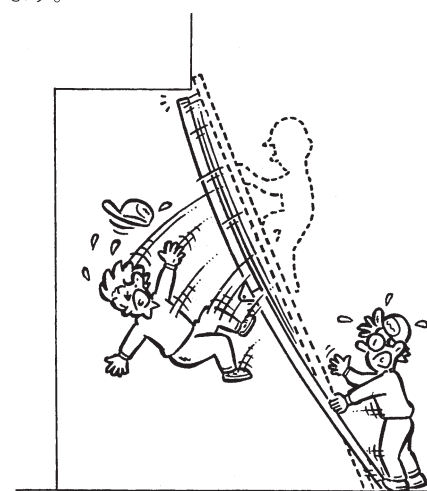
はしごを建物の接点から長く出しすぎると、はしごから屋根に乗り移るとき、転倒する恐れがあります。建物の高さに合ったはしごをお使いください。
やむをえず、長く突き出るときは、補助者が特に注意してはしごを押さえ、はしごの上の作業者は接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

⚠警告 はしごを水平にして、足場板や足場台に使わないでください。

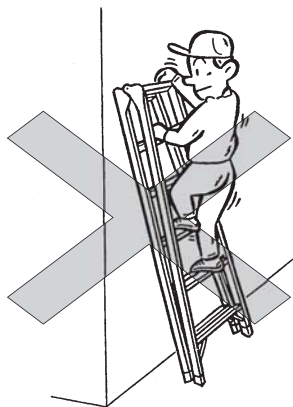
足が滑ったり製品の破損によって、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

⚠警告 はしごを長くするために、別のはしごやパイプ・木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

⚠警告 建物のはりや突き出た壁に、はしごの先端を立て掛けて使わないでください。

はしごのしなりや滑りによって、はしごの先端が外れ、転倒や転落する恐れがあります。

安全作業のために必ず守っていただきたいこと

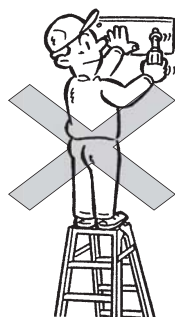
⚠警告　脚立を折りたたんだまま、建物に立て掛けて使わないでください。

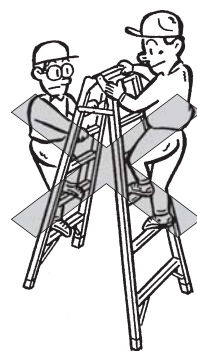
安定が確保できないため、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

⚠注意　電柱や共架柱に立て掛けるときは、必ず電柱抱付バンドを使用してください。

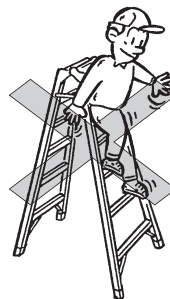
踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

8. 脚立状態で昇り降りや作業するとき

⚠危険　天板の上には、絶対に乗らないでください。

バランスをくずして、転倒や転落する危険があります。

⚠警告　同時に2人以上乗らないでください。

脚立が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。

⚠警告　脚立を背にしたり、手放しで昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。

⚠警告　脚立の支柱から身体を乗り出して、作業しないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落する恐れがあります。

⚠警告　身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落する恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠警告　脚立は静かに昇り降りし、脚立の途中から、飛び降りたりしないでください。

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って静かに降りてください。

⚠警告　作業中、脚立の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

無理に押したり、引いたりすると、反動で脚立が不安定になって、横転しやすくなります。

⚠警告　二つの脚立の間に板をかけて、足場などに使わないでください。

踏ざんなどが破損したり、脚立が不安定になって転倒や転落事故の恐れがあります。

9. はしご状態で昇り降りするときは

⚠危険　はしごから屋根、屋根からはしごに乗り移るときは、特に大人の補助者がしっかり押さえて、転倒を防止してください。

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠危険　はしごと建物の接点より上に、体重をかけないでください。

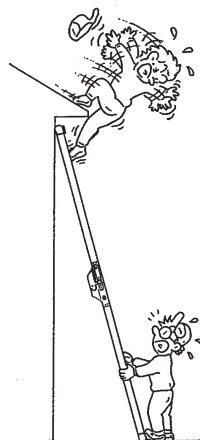
はしごの接地側が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

安全作業のために必ず守っていただきたいこと

⚠**警告** **屋根の上からはしごを移動させないでください。**

身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落する恐れがあります。

⚠**危険** **建物の壁に、はしごの端を立てかけた状態で、はしごの先端から屋根に乗り移らないでください。**

そのような状態で乗り移ると、身体のバランスをくずし、転落する危険があります。

⚠**警告** **同時に２人以上乗らないでください。**

はしごが不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。

⚠**警告** **はしごを背にしたり、手放しで昇り降りしないでください。**

身体が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。

⚠**警告** **支柱から横に身体を乗り出して、作業しないでください。**

身体を乗り出すとバランスをくずし、転落する恐れがあります。

⚠**警告** **身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。**

バランスをくずし、転倒や転落する恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠**注意** **はしごは静かに昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。**

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って静かに降りてください。

⚠**警告** **作業中、はしごの上で壁を無理に押したり、引いたりしないでください。**

壁などを無理に押したりすると、その反動ではしごが立ち上がり、転倒や転落する恐れがあります。